

授業日時	令和4年11月11日(金)	教科・科目	古典 A
学年・年次	2年次	児童生徒数	26人
单元名	『枕草子』	本時/この内容を扱う全時数	2/3
教科書及び教科書会社	『高等学校 改訂版 標準古典 A 物語選』 第一学習社		

<p>授業のねらい(本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)</p> <p>『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」を読み、清少納言が仕えた中宮定子のサロンについて理解する。定子は母親の影響もあり、和歌や漢籍などの高い教養を備えた女性であった。そして仕える女房たちとも、そのような教養を用いた機知に富んだやりとりを好み、その中心にいたのが清少納言であったと考えられる。今回の授業では、そのような定子サロンの雰囲気学ぶことで、『枕草子』の作品世界により深くせまることを目的とする。同時に、平安時代の文学において重要な役割を担った女房たちについて理解を深めることで、この後学習する『源氏物語』につなげる。</p>
<p>メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)</p> <p>「この宮の人」(中宮定子にお仕えする人)にふさわしいのはどんな人か?</p>
<p>児童生徒の既有知識・学習の予想(対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)</p> <p>メインの課題の答えとして「漢文の知識がある人」という答えは出てくるのではないかと思われる。(なお、本文で清少納言と定子のやりとりに出てくる白居易の漢詩は既に学んでいる。)「知識をもっているだけでなく、それをその場にふさわしい形で活用し行動に移せる」という所まで踏み込んで答えられる生徒は、最初の段階では多くないだろう。</p> <p>また、「話し合い」が苦手な生徒が多いため、エキスパート活動における複数での資料の読み取り、ジグソー活動における情報の共有(必要な情報をグループのメンバーにしっかり伝えられるか)という点で、困難があると考えられる。話し合わずプリントを見せ合うだけになってしまう可能性も考えられる。</p>
<p>期待する解答の要素(本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時一般的には男性のものとされていた漢文の知識をもっている人。 (女性でありながら日常の中に積極的に漢文を取り入れ、それを楽しめる人。 → 当時としてはめずらしい)</li> <li>・知識があるだけでなく、それをその場にふさわしい形にして使える臨機応変な対応力をもっている人。</li> </ul>

各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>
<p><b>エキスパートA</b></p> <p>中宮定子や女房たちが評価しているのは「清少納言が白居易の漢詩の詩句をふまえて実際に格子や御簾を上げる行動をとったこと」という点を押さえる。</p> <p>→「雪のいと高う降りたるを」を、清少納言の行動、女房たちの言葉から読み取り、この場面での清少納言のすごさについて考えさせる。</p> <p><b>エキスパートB</b></p> <p>中宮定子が女房たちに求めていたのは「機転をきかせて知識をその場にふさわしい形で活用できる能力」である点を押さえる。</p> <p>→「清涼殿の丑寅の隅の」を読み、定子の言葉から彼女が女房たちに求めていたことを考えさせる。</p> <p><b>エキスパートC</b></p> <p>「中宮定子は漢文の素養があったが、当時女性が漢文の知識をもち、日常会話にそういったものを取り入れるのは異色であった」という点を押さえる。</p> <p>→定子の母親についての説明や『大鏡』『紫式部日記』の記述を参考にすることで、定子や清少納言たちと漢文の関わりについて考えさせる。</p>
ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容
<p>定子サロンの雰囲気を理解した上で、当時、定子が置かれていた状況について説明する。時代背景を知ることによって『枕草子』についての理解を深める。</p> <p>その後、定子と同じく一条天皇の後となった女性「彰子」に仕えた女房に紫式部がいたという流れから、『源氏物語』の学習に入る。</p>

#### 本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢詩の学習</li> <li>白居易「香炉峰下新たに山居をトし草堂初めて成り偶東壁に題す」を読む。</li> </ul>	漢詩の内容や作者の置かれた状況を理解し、心情を想像できる。
前時	<ul style="list-style-type: none"> <li>『枕草子』について説明</li> <li>「雪のいと高う降りたるを」を読む。</li> <li>メイン課題に取り組む①</li> </ul>	『枕草子』について作者や成立年代など文学史的な知識を確認する。古語の意味を学び、教科書本文の内容を理解する。
本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキスパート活動</li> <li>ジグソー活動</li> <li>クロストーク</li> </ul>	グループで資料を読み、共有できる。中宮定子と清少納言との関わりや時代背景を踏まえて自分の考えを述べることができる。
次時	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン課題に取り組む②</li> <li>「雪のいと高う降りたるを」の内容を改めて確認する。</li> <li>『枕草子』が成立した時代背景を学ぶ。(中宮定子が置かれていた状況についても説明する)</li> </ul>	時代背景や定子サロンの雰囲気を理解した上で、本文を読み味わうことができる。『枕草子』や清少納言について、当時の状況を知ることによって理解を深める。
この後	『源氏物語』について説明	『枕草子』と対照させながら『源氏物語』の文学史的な知識を確認する。

上記の一連の学習で目指すゴール

教科書本文の表面的な理解に留まらず、定子サロンの雰囲気や時代背景を知ることで、『枕草子』という作品をより深く理解し、古典に対する興味、関心を引き出す。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
前時	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容を理解する</li> <li>課題を提示し〈はじめに〉を記入する</li> </ul>	
5分	〈導入〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の授業の振り返り</li> <li>本時の授業の流れの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習した本文の内容を復習し、課題を再提示する。</li> </ul>
15分	〈エキスパート活動〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>各エキスパート班で資料を読み、問いに答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキスパート資料の配布</li> <li>話し合いの進んでいない班の支援に入る。</li> </ul>
20分	〈ジグソー活動〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>ジグソー班に移動</li> <li>エキスパート資料の内容を共有し、班ごとに課題の解答を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジグソー資料の配布。</li> <li>話し合いの進んでいない班の支援に入る。</li> </ul>
10分	〈クロストーク〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>解答を班ごとに発表し、クラスで共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各班の解答を比較する。</li> <li>全員で共有しやすいように工夫する。</li> </ul>
次時	〈まとめ〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>個人に戻りあらためて自分の考えを記入する</li> </ul>	

グループの人数や組み方

〈エキスパート班〉

A：4人×2班

B：4人×1班、5人×1班

C：4人×1班、5人×1班

〈ジグソー班〉

4人×4班、5人×2班

※あらかじめグループ分けを提示しておく。

(参考文献・引用等)

- 『新版 枕草子 上巻 現代語訳付き』石田穰二 訳注 (1979年) 角川ソフィア文庫  
 新編日本古典文学全集『栄花物語①』山中裕、秋山虔、池田尚隆、福長進 訳・校注 (1995年) 小学館  
 新編日本古典文学全集『大鏡』橘健二、加藤静子 訳・校注 (1996年) 小学館  
 新編日本古典文学全集『和泉式部日記 紫式部日記 更級日記 讃岐典侍日記』  
 藤岡忠美、中野幸一、犬養廉、石井文夫 訳・校注 (1994年) 小学館  
 山本淳子『枕草子のたくらみ 「春はあけぼの」に秘められた思い』(2017年) 朝日新聞出版